

診療所実習を通して

あかりこどもクリニック 3年 YS

今回、私は7月24日にあかり子供クリニックで実習をさせて頂いた。1年に引き続き2度目の診療所実習であるため、ただ診療所を見学するのではなく、地域におけるどのような役割を果たしているか考え、今まで履修した臨床的なことも踏まえてどう診断しているかを見学し、深く学ぶことが出来た。今回の実習では特に、診療所の地域における役割について学ぶことを目的とし実習に参加した。

午前中は、院長先生のもと、診察の見学を中心にさせて頂いた。まず、最初にあかりこどもクリニックがどのような診療所なのかを説明していただいた。この中で特に印象に残ったのは、チーム医療を大切にしているということである。クリニックの就業規則序文にあるように、お互いの違いを理解し、尊敬する。また、感謝の気持ちを伝えるなどの些細なコミュニケーションを意識することが大切だと学んだ。これにより、間違いを指摘しやすくなり、チーム全体で医療行為をするという意識が必要だと思った。さらに、地域に根ざすクリニックとしての働き方にも工夫がされているのだと感じた。例えば、もし看護師の子供が熱を出したら、休みやすいような環境を作っているとおっしゃっていた。それは、自分の子供のケアをしっかりしなければ、ほかの子供の治療にも専念できない。まずは、自分の子供を優先することが大事とおっしゃっていた。

実際の診察の見学では、まず2つの大事なことを院長先生に教えていただいた。1つ目は、診察はほとんどが問診だということである。幼児では、なかなか自分の症状について説明するのが難しいので、保護者を交えながら、いつからなのか、どんな痛みなのかを聞いて、診断をつけて、治療方針を決定していた。2つ目は、クリニックの重要な役割は患者とその家族の不安を取り除いてあげるということである。診察の最後には、「まだ何か不安なことはありますか」と聞くことで、どんな些細な悩みでも打ち明けやすい関係作りが出来ていると感じる。このようにして、患者や家族の不安を取り除くことは、地域に根ざす診療所として最も重要な事だと思う。このような関係性になることで、かかりつけ医になることができ、地域の診療所としての役割を十分に果たせると思う。また、臨床の観点からは小児科にかかる患者の病気は、ある程度決まっているのだと感じた。例えば、アデノウイルスやRSウイルス、ヘルパンギーナ、溶連菌などである。診察する時も、幼稚園や小学校などで現在流行っている感染症などがいないか聞いていることもあった。他にも、予防接種の手伝いもした。注射をする時に、暴れて針の事故を起きないようにするために、子供の腕や足を抑えて、動かないようにした。

また、子どもが喜ぶような環境作りをされていた。壁には、隠れミッキーならぬ隠れうさぎのようなものが散らばっていたり、診察終了時にはシールを渡したり、また、注射後に貼る絆創膏にはキャラクターの絵が書かれているといった工夫がされてあった。このように、子供が病院に嫌なイメージを持たないようにするのはとても大事な事だと思う。

午後は看護師さんについて、その業務を学んだ。実際に行った事としては、予防接種や点滴の準備の見学やBCG後の指導見学、CRP検査、絆創膏の上にお絵描きなどである。小児は予防接種が多く、準備が大変と感じた。また、注射していい年齢や、前回からの間隔などが明確に定められているので、そのチェックを事務職員、準備する看護師、医師の3人でチェックするとおっしゃっていた。この中で印象に残った事がある。それは、壬生町が発行する予診票は色つきであり、間違いを防止するのに役立っているのはとても驚いた。診療所の中だけでなく、町全体的このようなミスを防ぐ取り組みは素晴らしいと思う。点滴準備では、子どもが暴れないよう、タオルで巻いて針を刺すと言ったことをしていた。やはり注射をする際は、押さえつけて事故を防ぐ事が重要だと思った。CRP検査では、わずかな血液から血中のCRP濃度を測っていた。これに関しては、実際に授業で学んだことであつたためどのような検査かわかった。このように、実際の授業が現場で活かすという経験は、勉強していてとても良かったなと思った。

今回の実習で、多くのことを学んだ。小児科では、子どもたちの成長段階や発達に合わせた診療が求められ、体調だけでなく、発達の過程や心理的な側面にも注意を払いながら診察することが大切だと思った。子どもたちとのコミュニケーションも特に重要であり、親御さんとの信頼関係を築くことが患者への最適なケアを提供する上で欠かせない要素であることを強く実感した。前述のように、子どもたちだけでなく親御さんも不安や疑問を抱えて診療所を訪れることが多いため、情報提供やサポートを通じて親御さんと連携をとりながら、子どもたちの健康をサポートすることが重要であることを学んだ。あかりこどもクリニックでは、他にも駐車場の一台一台の間隔を広くし、パーソナルスペースの確保し、子供が隣の車にドアをぶつけるかもしれないといった不安やストレスを駐車場の段階から考えているのは、本当に地域に受け入れられる診療所の素晴らしい工夫だと思った。ここで学んだことを活かして、地域医療に貢献できる医師になりたい。

あかりこどもクリニックの院長はじめ、スタッフの皆様には、実習する機会を提供していただき、本当にありがとうございました。貴重な時間を割いて指導やアドバイスをしてくださり、その知識と経験を分かち合ってくださいましたことに心より感謝しています。お陰様で、私は実際の医療現場での業務を通じて、いつもの授業だけでは得られない多くの学びを得ることができました。本当にありがとうございました。

参考文献

壬生町の小児科 あかりこどもクリニック | 下野市 栃木市近く (akari-kodomo.com)